

令和元年度 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会 開催要綱  
「だれもが安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて医療と福祉の連携をあらためて考える」

1. 目的

住み慣れた地域で、だれもが自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるよう、身近な地域で医療・介護・住まい・予防・生活支援等を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築にむけた取り組みがすすめられています。特に障害や疾病、要介護状態が重度である人ほど、医療と福祉、それぞれの専門性を生かした連携のあり方が課題となります。

今回は、この地域包括ケアシステムの構築に向けた現状について、神奈川県の取り組みを聞きつつ、医療と福祉の連携に焦点をあてて、どんなに重度なケアを要する状態であっても「だれもが自分らしく暮らせる」をかなえる地域包括ケアシステムのありようについて、参加者の皆様とともに考える機会とします。

2. 主催 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会

3. 日時 令和2年 3月 16日（月） 13:30～16:30

4. 内容 裏面プログラムをご覧ください。

5. 会場 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2 神奈川県社会福祉会館 2階 講堂  
(裏面地図参照—横浜駅西口から徒歩約10分)

6. 参加費 無料

7. 対象

- ・本会「第2種・第3種正会員連絡会」会員団体及び各会員団体加盟施設 役職員・個人会員等
- ・福祉・保健・医療関係機関・団体の職員
- ・その他、関心のある方

8. 定員 100名 ※定員になり次第、締切（受講不可の場合のみ事務局から連絡します）

9. 申込方法 (1) 県社協ホームページ (<http://www.knsyk.jp/>) からの受付  
※トップページ > 参加する > セミナー・イベント情報  
> 県社協主催のセミナー・イベント > 令和元年度(平成31年度)  
> 「令和元年度 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会」

申込フォーム URL <https://forms.gle/Pvi3iFM7zBpxPMoX8>

※左記QRコードから、申込フォームが開きます。



(2) メール・FAXによる受付

①表題:「令和元年度 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会」

②氏名 ③所属先団体・機関名 ④連絡先電話番号・メールアドレス

⑤担当業務・職種等 ⑥参加動機 ⑦参加にあたっての要望を記入の上、裏面記載の「お問合せ・申込先」に送信願います。

※ FAXの場合は送信後、受信確認の電話を事務局へお願いいたします。

※ ご提供いただいた個人情報、本研修会の運営目的のみに使用し、その他の用途での使用及び第三者への提供は致しません。当日は参加者名簿を作成し、各講師・参加者に配布します。

○裏面に「お問合せ・申込先」と当日プログラムがあります。

**【お問合せ・申込先】**

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

地域福祉推進部 地域福祉推進担当（担当：高橋）

TEL 045-312-4815 / FAX 045-312-6307 / e-mail [tiiki@knsyk.jp](mailto:tiiki@knsyk.jp)

**【プログラム】** ※当日の進行状況により予定時間は変更になる場合があります。

時 間	内 容	講師・発表者
13:25	開会挨拶・事務連絡	
13:30 ～13:50	行政説明 地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川県の 取り組みについて	県福祉子どもみらい局福祉部 高齢福祉課企画グループ
13:50 ～14:20	課題提起「だれもが安心して暮らし続けられる 地域づくりに向けて、医療と福祉の連携をあら ためて考える」 地域包括ケアシステムが目指す地域とは。 —すべての人びとが最後まで自分らしく暮らせる 地域づくりにむけて、専門職、当事者、住民、 それぞれに考えるべきことは—。	神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 臼井 正樹 氏
14:20～14:30	休憩	
14:30 ～16:30	パネルディスカッション 「だれもが安心して暮らし続けられる地域づく りに向けて、医療と福祉の連携をあらためて考 える」  (1) それぞれの立場から、地域包括ケアシステ ム構築にむけての現在の取り組みと課題につい て  (2) パネルディスカッション ◆医療職、介護職、両者の視点がそれぞれの専門 性と役割のもと、有機的な連携・協働につなが っていくために必要なこと ◆不足する資源をどう確保していくか ◆各市町村の取り組みを推進していくために	【コーディネーター】 同上 臼井 正樹氏  【パネリスト】 ①神奈川県医師会 理事 医療法人 篠原湘南クリニックグループ クローバーホスピタル 理事長 篠原 裕希 氏  ②神奈川県介護福祉士会 理事 小規模多機能型居宅介護 まこさんち 管理者 鈴木 真 氏  ③神奈川県医療ソーシャルワーカー協会 会長 横浜労災病院 医療福祉相談室長 藤田 寛 氏  ④神奈川県心身障害児者 父母の会連盟（調整中）

**(会場案内図)**

※公共交通機関での来場をお願いします。

車いす等をご利用の方で、お車での来場を希望される方は  
事前にご相談下さい。

※研修会場は、個々のニーズに合わせた温度調節が難しいため、  
ひざ掛け、上着等、各自で防寒対策をお願いいたします。



# だれもが安心して暮らし続けられる地域づくりに 向けて～医療と福祉の連携をあらためて考える

「地域包括ケアシステム」構築に向けた取り組みが、今、各地域ですすめられています。そこでは医療と福祉、そして住民も含めて、各々の専門性や役割、持っている力を生かした連携・協働が不可欠です。これからの地域包括ケアシステムのめざすところ、そのために医療、福祉、地域ではどのようなことが求められているのか、参加者の皆様とともに考えます。

日時：令和2年3月16日（月）13：30～16：30

会場：神奈川県社会福祉会館 2階 講堂

横浜市神奈川区沢渡4-2（横浜駅西口より徒歩約15分）

参加費無料

【プログラム】※当日の進行状況により予定時間は変更になる場合があります。

時間	内容	講師・発表者
13：25	開会挨拶・事務連絡	
13：30 ～13：50	行政説明 地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川県の取り組みについて	県福祉子どもみらい局福祉部 高齢福祉課 企画グループ
13：50 ～14：20	課題提起 「だれもが安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、医療と福祉の連携をあらためて考える」	神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 臼井 正樹 氏
14：20～14：30	休憩	
14：30 ～16：30	パネルディスカッション 「だれもが安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、医療と福祉の連携をあらためて考える」  (1)それぞれの立場から、地域包括ケアシステム構築にむけての現在の取り組みと課題について (2)パネルディスカッション ◆医療職、介護職、両者の視点がそれぞれの専門性と役割のもと、有機的な連携・協働につながっていくために必要なこと ◆不足する資源をどう確保していくか ◆各市町村の取り組みを推進していくために	【コーディネーター】 同上 臼井 正樹 氏 【パネリスト】 ①神奈川県医師会 理事 医療法人 篠原湘南クリニックグループ クローバーホスピタル 理事長 篠原 裕希 氏 ②神奈川県介護福祉士会 理事 小規模多機能型居宅介護 まこさんち 管理者 鈴木 真 氏 ③神奈川県医療リハビリケア協会 会長 横浜労災病院 医療福祉相談室長 藤田 寛 氏 ④神奈川県心身障害児者父母の会連盟 (調整中)

定員 100名  
先着順に  
申し込み受付

対象 本テーマについて関心のある方

主催 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会

【お問合せ・申込先】

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会地域福祉推進部地域福祉推進担当

TEL 045-312-4815 / FAX 045-312-6307 / e-mail [tiiki@knsyk.jp](mailto:tiiki@knsyk.jp)

